

事業所自己評価

事業所名：LITALICOジュニア 新大阪 教室

サービス：児童発達支援

評価実施日：2024年11月7日（木）

担当者：澤田・後藤・稲澤

事業所内分析

事業所と保護者さまとの共通点

環境面：報酬改定をうけて預かり時間が多くなり、もともと特化している環境ではないため、工面は引き続き必要
サービスの継続：LITALICO内でLJ利用からHD利用に継続して療育を提供できる環境が作れるとよい

事業所と保護者さまとの相違点

お子さんへの療育機会以外での、保護者様へペアトレや座談会等の利用者様同士がお話する、情報が共有し合える機会提供は年間計画できていればよかった

分析・検討結果

事業所の強み

総じて、報酬改定により、集団での過ごす機会が多くなったために環境面で工面する事項が事業所、利用者との大きな乖離がなく、課題意識が持てている。

事業所の改善点

ハード面の変更はできない事項も多いが、来年度より個別をより中心として力を入れていく方向も決まったためより個々にそった支援提供が可能になる
保護者同士のコミュニティは定期的に行うことができることがよいと想定するが、ニーズの把握も含めて今後チームでも検討していく

改善への取り組み

- ・来年度より個別療育への注力する方向であるため、空間の問題や、個々に特化したアプローチ機会は増える見通し
- ・ご利用者同士のコミュニティ形成については、今年度実施（ペアトレは下期に実施予定）の参加状況をみて、チームでも振り返り保護者様のニーズ把握に努める